

日本ビジネス 実務学会 会報

発行
2004年4月30日

NO. 40

日本ビジネス実務学会・事務局 〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町1300 高崎経済大学気付 TEL・FAX 027-344-7587 E-mail tsuboaki@tcue.ac.jp

2003年度 ブロック研究会活動報告

北海道ブロック

■ブロック研究会活動報告■

本年度は講演会、ワークショップを含む研究会を2回開催することができた。以下に報告する。

第1回

1. 日 時：平成15年5月24日（土）13：00～14：00
2. 会 場：道都大学研究センター
3. 出席者：12名
4. 懇親会：ホテルモントレエーデルホフ（17：00～）

日ごろ研究を進める上で必要なアンケート調査の方法を学ぶ機会を得たこと、および学会本部からの支援があり、関東からお二方の先生をお招きしワークショップを開催することができたことを喜び、中川から挨拶があった。

まず、株式会社アイ・ピー・エス代表取締役 八田裕二氏により、「アンケートの集計方法」と題し調査用紙の構成、質問項目作成の注意点などの説明がなされ、エクセルをスクリーンに映し出し、集計のコツ、裏技を披露いただいた。

その後、産能短期大学 渡辺裕一先生、高崎商科大学短期大学部 大宮智江先生により、「ワークショップを体験しよう」と題し、ワークショップの展開の仕方や様々な教材の披露がなされた。そして、会員自ら学生になったような気分漢字ビンゴ等を体験した。

第2回

1. 日 時：2004年2月28日（土）13：00～16：30
2. 会 場：道都大学研究センター
3. 出席者：14名
4. 懇親会：ホテルモントレエーデルホフ（17：00～）

まず、中川ブロックリーダーから、大学における厳しい現状と今後の大学の方向性を考慮にいたした活動の重要性が説かれ、また来年度における学会全国大会の研究発表等の参加が呼びかけられた。

その後、3件の研究発表と講演が順次行われた。

(1) 「新卒非正規社員の動向—ヒアリング調査結果から—」

(北海道武蔵女子短期大学 和田佳子先生
國学院短期大学 椿 明美先生)

派遣労働者数の増加に伴った新卒派遣社員の現状と動向の調査報告、さらに実際に短大新卒非正規社員として勤務している7名に対して行った雇用条件や勤務実態、職務満足度、そして今後のキャリアプランなどをヒアリングした結果が発表され、短大教育における今後の課題が提起された。

(2) 第23回全国大会「プレゼンター・オブ・ザ・イヤー賞」

参加予定者による発表

① 「私の教授法とその効果」

(北海道浅井学園大学短期大学部 田口智子先生)

個人の思考経路固定からグループの全体固定に至るまでのプロセスの中に、常に何を・何故の論理を組み込み、カード活用によるマップ作成などを取り入れて様々な能力開発をねらう、個と全体の関係性を意識した授業法が発表された。

② 「私の教授法『日本語表現・ライティングセンター』」

(札幌国際大学 武井昭也先生)

一人ひとりを大切にするという意味での差異化を図りながら、あくまでも学生中心という視点に立った学生参加型の授業法と、今後の課題として、大学教育における学習支援としてのライティングセンター設置への取り組みが発表された。

(3) 講演：「『大学ランキング』編集協力について」

(キャレンハウス 村井弘氏)

現在大学短大が厳しい状況にある中で、大学紹介や大学ランキング評価における数多くの出版物の編集に携わってこられ、また大学・地域活性化コンサルティングアドバイザーとして活躍されている視点から、現状打破として、今後各大学が取り組むべき姿勢とその一つとしての啓蒙活動の重要なポイントが示唆された。

(大塚 映 記)

関東・東北ブロック

平成15年度の関東・東北ブロック研究会は、佐藤啓子リーダーほか6名の運営委員が2期4年の任期を終え、新たにリーダーの武田秀子ほか18名の運営委員が再任・就任し、活動を開始した。年間を通して3回の運営委員会を開催し、各委員は「共同研究委員会」と「ブロック研究委員会」の2つの小委員会に分かれ、企画・立案、実施にむけて活動した。その結果、次のような成果をみる事ができた。

共同研究委員会においては2003年度共同研究として次の2つの研究を採択し、第31回関東・東北ブロック研究会においてそれぞれ中間報告を行う事ができた。

- ・研究テーマ「フォロワーシップ育成マネジメント」
研究代表：福田眞知子
- ・研究テーマ「情報機器を活用した日本語教育法の開発研究」
研究代表：三村 善美

ブロック研究委員会では、第31回関東・東北ブロック研究会を平成16年2月21日(土)に東京商工会議所ビルにおいて開催し、約60名の参加者があった。このブロック研究会は会員の一年間の活動の締めくくりであり、また研究発表の場でもあって、非常に意義深いものであり、参加者の熱気あふれる討論をもって終了した。研究会の内容の主なプログラムは以下のようなものであった。

午前の部

- ・関東・東北ブロック研究会総会
- ・2003年度共同研究中間報告
- ・基調講演：『「論語」で社会を創る
— 渋沢栄一を通して「論語」を読む —

午後の部

- ・研究発表
 - 「新卒派遣の研究—派遣会社3社の事例から」
個人研究：佐藤美津子
 - 「新卒派遣はインターンシップの代わりとなりうるか」
共同研究：佐藤美津子ほか
 - 「ルポルタージュの作成と評価—インタビューと編集ビジネスの実践」
個人研究：牛島 倫子
 - 「プロフェッショナル人材マネジメント」
個人発表：福田眞知子
 - 「ビジネス実務演習 授業方法の—工夫—オフィスワークの体感を目指して」
個人研究：長谷川文代
 - 「ベンチャー企業の役割と仕組み」
個人研究：山本 壽夫
- ・課題別グループ討議
 - 「学生による学内(外)ビジネス」 リーダー：山口 憲二
 - 「雇用の多様化と就職指導」 リーダー：佐藤美津子
 - 「情報倫理」 リーダー：大島 武
 - 「これからのビジネス文書教育」 リーダー：岡田小夜子
 - 「インターンシップ」 リーダー：大宮 智江
 - 「PPTプレゼンテーション」 リーダー：牛島 倫子
 - 「フォロワーシップ」 リーダー：福田眞知子
 - 「ホスピタリティとEQ」 リーダー：古閑 博美
- ・懇親会

以上、平成15年度関東・東北ブロック研究会の活動を簡単に報告した。なお、本年度から、事務局を高崎商科大学短期大学部に移転した。また、会員のコミュニケーションを密にするため、中断していた「関東・東北ブロック会報」の発行を再開することに運営委員会において合意し、実施することになった。

(文責 武田 秀子)

中部〈東海・北陸〉ブロック

■ブロック運営委員会の活動

近年のブロック運営委員会の活動として、ブロック研究会の企画・開催、共同研究への研究助成を積極的に推進し、着実な成果をあげている。

2003年度のブロック研究会は、2004年1月10日、名古屋女子文化短期大学で開催された。内容は、研究発表7件(研究発表一覧を参照)、ブロック研究助成の成果報告2件、ワークショップ1件、ベスト・エデュケーター・オブ・ザ・イヤー賞の受賞報告2件であった。

また、2003年6月に静岡文化芸術大学で開催された第22回全国大会は、ブロック運営委員を中心として全国大会実行委員会(24名)を組織し運営の任に当たった。

2003年度の運営委員会は、2004年1月10日、名古屋女子文化短期大学において開催された。運営委員会の審議事項など概略は以下のとおりである。

1. 審議事項

- 1) 2003年度ブロック研究会の実施について
- 2) 2004年度ブロック研究会の開催について
- 3) 2004年度のブロック助成研究について

4) ブロック「会報」の発行について

2. 報告事項

- 1) 第22回全国大会(2003.6.7-8、静岡文化芸術大学)について
- 2) JACB主催ベスト・エデュケーター・オブ・ザ・イヤー賞全国大会について
- 3) 本学会2003年度教授法研究助成について
- 4) 2002年度JACB受託研究について
- 5) 2003年度JACB受託研究について
- 6) 2003年度ブロック助成研究について
- 7) 第23回全国大会について
- 8) 学会主催「プレゼンター・オブ・ザ・イヤー賞」について
- 9) 学会「入会申込書」の改変について

(中村 健壽・記)

■ブロック研究会の開催

2003年度の中中部ブロック研究会は、2004年1月10日(土)・11日(日)の両日に名古屋女子文化短期大学にて開催された。

第1日目は、当ブロックリーダーの中村健壽先生の開会挨拶に

引き続き、総会では来年度のブロック研究会について、2005年1月8日(土)・9日(日)に北潟克輔先生を中心に北陸地区にて開催することが決定し、さらに、JACB主催の「ベスト・エデュケーター・オブ・ザ・イヤー賞」全国大会にて当ブロックの岡野絹枝先生と戸田昭直先生がそれぞれ優秀賞を獲得されたこと等が報告された。

続いて、ブロックの研究助成を受けた2つの研究について、有意義な成果が報告され、さらに、IT社会を反映した3つの研究発表とワークショップ「起業家へ、ビジネスアイデアをビジネスプランに！」が行われた。とくにワークショップでは、各グループがそれぞれオリジナリティ溢れる実践的なビジネスプランを作り、それについて熱いプレゼンテーションがなされた。

その後、学内のディナールーム「サンタクルス」にて懇親会が行われ、川口直子先生の司会のもと豪華な食事と和気藹々とした雰囲気の中、学会員の親交を深めることができた。

第2日目は、JACB主催の「ベスト・エデュケーター・オブ・ザ・イヤー賞」を受賞された岡野絹枝先生と戸田昭直先生によりそれぞれ受賞報告がなされた。学生に対する有効な指導方法を学ぶ大変貴重な報告であった。引き続き、特色ある4つの研究発表が行われ、それぞれ活発な質疑応答がなされた。

そして、2日間にわたったブロック研究会が吉田寛治先生の閉会挨拶と総評によって締め括られた。そのなかで、ビジネスの本質とは何か?について再考することの重要性を示唆された。

(越原洋二郎・記)

近畿ブロック

第36回近畿ブロック研究会は、2月28日、29名の参加を得て、西宮市大学交流センターで開催されました。まず足塚智志先生(大阪国際大短大部)の司会による総会で、仁平征次ブロックリーダー(関西国際大)から事業報告、会計報告などがありました。また、6月の全国大会の進捗状況もあわせて報告されました。

続いて、長谷川一彦氏(株式会社ロココ代表取締役)の「新卒派遣に求められる資質」と題する講演がありました。社員の教育は決して技術だけではないことを会社の事例に即して話されました。

講演のあと、足塚智志先生が「2003年ベスト・エデュケーター・オブ・ザ・イヤー賞」参加報告をしていただきました。

助成研究中間報告は今回2件の報告がなされました。一つは「非営利ビジネス経営」で林雄太郎先生(大阪キリスト教短大)が報告をされました。続いて、「大学生のキャリア形成を構成する要素の検討」と題する報告が足塚智志先生よりなされました。

今回の個人研究発表は3件でした。テーマと発表者は以下の通りです。敬称は略させていただきます。

りです。敬称は略させていただきます。

1. 『改正労働者派遣法による雇用変化とそれに伴うビジネスワーカーの対応に関する考察』
大窪 久代(近畿大)
馬場 拓治(近畿大)
松村 卓司(株式会社パナソニック)
喜島 郁子(近畿大)
2. 『農村女性のキャリア形成—神戸市西区在住のNさんを事例にして—』
仁平 章子(賢明女子学院短大)
3. 『大学開放と生涯学習振興—高等教育機関の新たなリーダーシップをめぐって—』

塚原 昭人(四天王寺国際仏教大)

個人研究発表に対して、参加者からの多方面からの活発で意義ある質問が出され、有意義な研究会となりました。

研究発表の後、教育研究懇親会をもちました。それぞれの研究課題についての意見交換をし、交流を深めました。

中国・四国ブロック

○ブロック総会

2003年9月27日(土) 広島女学院大学

議事内容として、「2002年度事業報告」、「2002年度会計報告」、「2003年度事業計画」、「2003年度予算について」、「理事会報告」、「全国大学実務教育協会からの委託研究について」、「ブロック運営委員の選出について」が行われ、承認された。また、ブロック総会・研究会の次年度開催地は徳島となり、当番校は四国大学短期大学部となった。

○ブロック研究会

2003年9月27日(土)～28日(日) 広島女学院大学

出席者 28名、発表件数 8件

今年で、本ブロック研究会も20年を迎え、記念すべき第20回研究会が広島女学院大学において開催された。記念講演として、IWAD環境福祉専門学校理事長・校長の平田富美子先生を招き、「学校を創る—教育ビジネスの最前線から—」と題し、学校づくりをテーマに女性の社会進出のための様々な再教育のための苦勞や教育事業の難しさなど、今、職業教育に必要な思いをお話いただいた。また、以下の研究発表が行われた。

- ①「ホスピタリティ教育の実践と課題」

高塚 順子(高松短期大学)

- ②「データベースの教育技法」 原 和陽(作陽短期大学)

- ③「IT化による大学教育の変貌」

山本 慶子(香川短期大学)

- ④「ボランティア実習の課題」 樋口 紀子(梅光学院大学)

- ⑤「インターンシップ経験が職業意識形成に与える効果について(1)」

桐木 陽子・郡司島宏美(松山東雲短期大学)

- ⑥「キャリアプランニング入門—教育開発・実践・評価報告」

篠原 収(広島女学院大学)

- ⑦「NPOの会計に関する諸問題—キャッシュフロー計算書との関連—」

須藤 芳正(川崎医療福祉大学)

- ⑧「医療機関でのCS」 田中 伸代(川崎医療福祉大学)

○ブロック運営委員会

ブロック運営委員会は、2003年6月7日(土) 静岡文化芸術大学、2003年7月12日(土) 梅光学院大学女子短期大学、2003年9月27日(土) 広島女学院大学、2003年9月28日(日) 広島女学院大学の合計4回行った。また、中国・四国ブロック会報第17号を発行するとともに、過去のブロック会報の電子化を行い、CDを会員に配布した。

九州・沖縄ブロック

1. ブロックの運営動向

2003年度の九州・沖縄ブロック研究会は、北九州市の九州共立大学および福岡市民会館において例年通り二回開催された。概略は下記のとおりである。

研究会当日開催の運営委員会において、前年度の活動報告、会計報告、今年度の活動状況、来年度の事業計画が審議承認された。

運営委員会の後、研究会会場にて上記の提案、計画等の議案が提出され承認された。

2. 研究会活動

—第34回研究会—

期 日：2003年10月4日（土）

会 場：九州共立大学（北九州市）

出席者：15名

研究発表

「起業方式による実践的教授法の開発」

発表者：藤村やよい（久留米信愛女学院短期大学）

座 長：杉原 英夫（九州共立大学）

「企業の人材戦略—企業内教育の変化と大学教育について—」

発表者：杉原 英夫（九州共立大学）

坂本 一登（福岡女子短期大学）

白川美知子（九州共立大学）

花崎 正子（東筑紫短期大学）

山本 浩貴（東筑紫短期大学）

ワークショップ「企業内教育の変化と大学教育について」

ファシリテーター：

白川美知子（九州共立大学）

花崎 正子（東筑紫短期大学）

記 録：山本 浩貴（東筑紫短期大学）

—第35回研究会—

期 日：2004年2月21日（土）

会 場：福岡市民会館（福岡市）

出席者：21名

研究発表

「経済等価の原則と大学改革」

発表者：北原 康司（釜山女子大学）

座 長：山本 浩貴（東筑紫短期大学）

「フリーター問題とビジネス教育の課題」

発表者：江藤智佐子（筑紫女学園短期大学）

座 長：木原すみ子（九州龍谷短期大学）

「新ビジネス実務教育試考—モラル教育の面からの—考察—」

発表者：大城 智美（沖縄女性研究者の会）

座 長：白川美知子（九州共立大学）

「福岡女子商業高等学校における就職試験の現状とキャリア教育」

発表者：池田 一生（福岡女子商業高等学校）

座 長：藤村やよい（久留米信愛女学院短期大学）

「学生の働き方意識（2）—性別役割分業観との関連で—」

発表者：花崎 正子（東筑紫短期大学）

座 長：木原すみ子（九州龍谷短期大学）

「成果主義と賃金デフレは個人の生活をどう変えるか」

発表者：杉原 英夫（九州共立大学）

座 長：大城 智美（沖縄女性研究者の会）

第34回の研究会は、白川美知子先生のお世話により九州共立大学での開催となり、学部長の北原真木先生もご臨席され白川先生の総合司会の下活気のある充実した内容となった。研究発表、ワークショップ、さらに懇親会における教育・研究についての情報交換、参加者の近況報告等々、参加者相互の親睦を深め盛会のうちに無事すべてのプログラムを終了した。

研究発表一覧

趣意書に掲載されている研究区分によりまとめてあります

【1】ビジネス実務教育

1) ビジネス実務能力開発の教育研究

・ITを活用したプレゼンテーション教育の展開

梅村 信夫（名古屋学芸大学短期大学部）

・大学開放と生涯学習振興—高等教育機関の新たななるレーンデールをめぐる—

塚原 昭人（四天王寺国際仏教大）

・インターンシップ経験が職業意識形成に与える効果について（1）

桐木 陽子（松山東雲短期大学）

郡司島宏美（松山東雲短期大学）

2) 教授法の研究

・私の教授法とその効果

田口 智子（北海道浅井学園大学短期大学部）

・私の教授法『日本語表現・ライティングセンター』

武井 昭也（札幌国際大学）

・ルポルタージュの作成と評価—インタビューと編集ビジネスの実践

牛島 倫子（鶴見大学短期大学部）

・ビジネス実務演習—授業方法の工夫—オフィスワーク体感をめざして

長谷川文代（湘北短期大学）

・e-Learningの現状と課題について

長野真理子（常葉学園短期大学）

・学生世代のコミュニケーションにおける特徴の—考察

水口美知子（市邨学園短期大学）

・ホスピタリティ教育の実践と課題

高塚 順子（高松短期大学）

・キャリア・プランニング入門—教育開発・実践・評価—

篠原 収（広島女学院大学）

- データベースの教育技法
原 和陽 (作陽短期大学)
- ボランティア実習の課題
樋口 紀子 (梅光学院大学)
- 起業方式による実践的教授法の開発
藤村やよい (久留米信愛女学院短期大学)
- 新ビジネス実務教育試考—モラル教育の面からの—考察—
大城 智美 (沖縄女性研究者の会)
- IT化と大学教育の変貌
山本 慶子 (香川短期大学)
- 企業の人材戦略—企業内教育の変化と大学教育について—
杉原 英夫 (九州共立大学)
- 坂本 一登 (福岡女子短期大学)
- 白川美知子 (九州共立大学)
- 花崎 正子 (東筑紫短期大学)
- 山本 浩貴 (東筑紫短期大学)

【2】ビジネス実務現象の研究

1) ビジネス環境と実務

- 新卒非正規社員の動向—ヒアリング調査結果から—
和田 佳子 (北海道武蔵女子短期大学)
- 榎 明美 (國學院短期大学)
- 新卒派遣の研究—派遣会社3社の事例から
佐藤美津子 (湘南国際女子短期大学)
- 新卒派遣はインターンシップの代わりとなりうるか
佐藤美津子 (湘南国際女子短期大学)
- 花塚 恵 (アデコ株式会社)
- 齋藤 裕美 (湘南国際女子短期大学)
- 西本万映子 (湘南国際女子短期大学)
- 千賀 綾乃 (アデコ株式会社)
- デジタル地上波におけるIT化の流れ—通信と放送の融合—
寺島 雅隆 (名古屋文化短期大学)
- キャリアサポート総合講座の取り組み
大津 洋子 (名古屋学芸大学短期大学部)
- 浜松における女性の教育と職業
笹瀬佐代子 (浜松短期大学)
- 改正労働者派遣法による雇用変化とそれに伴うビジネスワーカーの対応に関する考察
大窪 久代 (近畿大)
- 馬場 拓治 (近畿大)
- 松村 卓司 (株式会社パナソニック)
- 喜島 郁子 (近畿大)
- NPOの会計に関する諸問題—キャッシュフロー計算書との関連—
須藤 芳正 (川崎医療福祉大学)

- 経済等価の原則と大学改革
北原 康司 (釜山女子大学)
- フリーター問題とビジネス教育の課題
江藤智佐子 (筑紫女学園短期大学)
- 福岡女子商業高等学校における就職試験の現状とキャリア教育
池田 一生 (福岡女子商業高等学校)
- 学生の働き方意識(2)—性別役割分業観との関連で—
花崎 正子 (東筑紫短期大学)
- 成果主義と賃金デフレは個人の生活をどう変えるか
杉原 英夫 (九州共立大学)

2) 時代を切り拓くビジネス実務

- ベンチャー企業の役割と仕組み
山本 壽夫 (都市未来総合研究所)
- 女子学生の学校生活上のストレスに対するとらえ方と対処法に関する検討
尾上 恵子 (一宮女子短期大学)
- 石川 隆行 (聖母女学院短期大学)
- 一柳 達幸 (一宮女子短期大学)
- 医療機関におけるCS (Customer Satisfaction)
田中 伸代 (川崎医療福祉大学)

3) 個人とチームの実務能力の開発

- プロフェッショナル組織の人材マネジメント
福田真知子 (早稲田大学大学院)
- 農村女性のキャリア形成—神戸市西区在住のNさんを事例にして—
仁平 章子 (賢明女子学院短大)

2003年度 ブロックリーダー・サブリーダーおよび運営委員

◎ (リーダー)、○ (サブリーダー) (敬称略)

【北海道】

- ◎中 川 昌 代 (道都大学)
- 榎 明 美 (國學院短期大学)
- 大 塚 映 (札幌医療秘書福祉専門学校)
- 北 崎 寛 (札幌国際大学)
- 丹 治 和 典 (札幌国際大学)
- 和 田 佳 子 (北海道武蔵女子短期大学)

【関東・東北】

- ◎武 田 秀 子 (高崎商科大学短期大学部)
- 天 野 恒 男 (東京家政学院大学)
- 大 島 武 (東京工芸大学)
- 植 竹 由美子 (仙台白百合女子大学)

- 牛 島 倫 子 (鶴見大学短期大学部)
- 大 宮 智 江 (高崎商科大学短期大学部)
- 岡 田 小夜子 (高崎商科大学短期大学部)
- 北 垣 日出子 (日本橋学館大学)
- 小 籠 和 子 ((株)ライトマネジメント コンサルタンツ ジャパン)
- 古 閑 博 美 (嘉悦大学短期大学部)
- 佐 藤 美津子 (湘南国際女子短期大学部)
- 芝 原 脩 次 (WAKUWAKUヒューマンカンパニーしばら)
- 眞 保 智 子 (高崎健康福祉大学短期大学部)
- 堤 幸 男 (日本テレワーク協会)
- 坪 井 明 彦 (高崎経済大学)
- 畠 田 幸 恵 (湘南短期大学)

福田 眞知子 (武蔵野女子大学)
 山口 憲二 (新島学園女子短期大学)
 渡辺 裕一 (産能短期大学)
【中部】
 ◎中村 健壽 (静岡文化芸術大学)
 ○北淵 克輔 (金沢経済大学)
 吉田 寛治 (金沢学院大学)
 真弓 徳光 (高田短期大学)
 一柳 達幸 (一宮女子短期大学)
 鎌田 和江 (名古屋女子短期大学)
 岡野 絹枝 (金城大学短期大学部)
 川口 直子 (名古屋女子文化短期大学部)
 清水 たま子 (愛知江南短期大学)
 福岡 欣治 (静岡文化芸術大学)
 戸田 昭直 (浜松短期大学)
 越原 洋二郎 (名古屋女子大学)
【近畿】
 ◎仁平 政次 (社団法人日本経営協会)
 ○林 雄太郎 (大阪キリスト教短期大学)
 ○石田 紘子 (京都学園大学)
 足塚 智志 (大阪国際大学短期大学部)
 有働 寿恵 (梅花短期大学)
 河原 和英 (大阪樟蔭女子大学)
 杉田 乾伍 (姫路日ノ本短期大学)
 水原 道子 (大手前女子短期大学)

油谷 純子 (大阪国際大学短期大学部)
【中国・四国】
 ◎佃 昌道 (高松短期大学)
 桐木 陽子 (松山東雲短期大学)
 岡部 瑞穂 (岡山女子短期大学)
 樋口 紀子 (梅光大学女子短期大学部)
 須藤 芳正 (川崎医療福祉大学)
 曾根 康仁 (瀬戸内短期大学)
 久次 弘子 (広島国際大学)
 松永 満佐子 (四国大学短期大学部)
 関 由佳利 (高松短期大学)
【九州・沖縄】
運営委員
 ◎坂本 一登 (福岡女子短期大学)
 ○白川 美知子 (九州共立大学)
 木原 すみ子 (九州龍谷短期大学)
 杉原 英夫 (九州共立大学)
 中村 美代子 (長崎純心大学短期大学部)
 浅岡 柚美 (中村学園大学短期大学部)
 大城 智美 (沖縄女性研究者の会)
 藤村 やよい (久留米信愛女学院短期大学)
 山本 浩貴 (東筑紫短期大学)
監事
 花崎 正子 (東筑紫短期大学)

.....

2003年度 新入会員 (2002年8月26日～2003年8月22日)

新井 直樹 (高崎経済大学大学院)
 磯林 征一 (園田学園女子短期大学部)
 伊藤 宏 (プール学院大学短期大学部)
 猪熊 洋文 (株式会社デジタルニッチアーカイビング)
 梅田 理栄子 (美工社株式会社)
 梅村 信夫 (名古屋学芸大学短期大学部)
 大西 紀夫 (富山短期大学)
 小野 竜太郎 (美工社株式会社)
 香川 晴美 (山陽学園短期大学)
 掛 埜 真巳 (富士ゼロックス株式会社)
 金田 桜子 (富山短期大学)
 鎌田 りみ (湘南短期大学)
 神戸 康弘 (山陽学園短期大学)
 喜島 郁子 (近畿大学大学院)
 児島 尚子 (大阪医療秘書福祉専門学校)
 米谷 京子 (ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社)
 佐藤 研一 (高崎健康福祉大学短期大学部)
 佐藤 充子 (札幌大学女子短期大学部)
 重松 郁也 (株式会社ベネッセコーポレーション)
 白 寄 まゆみ (淑徳大学)

朱 宮 裕子 (ニチハ株式会社)
 曾 我 恵美子 ((学) 神奈川歯科大学 湘南短期大学)
 谷 井 良 (東京経営短期大学)
 堤 幸 男 (社団法人日本テレワーク協会)
 坪 井 明 彦 (高崎経済大学)
 西山 テルミ (伊藤忠商事株式会社)
 野 尻 桂 子 (苫小牧駒澤大学)
 橋 本 朕 (富山短期大学)
 淵 脇 久 美 ((学) 神奈川歯科大学 湘南短期大学)
 宮 内 海 司 (岩国短期大学)
 森 本 みどり (四国大学)
 山 田 尚 子 (四国大学)
 山 本 壽 夫 ((有) 都市未来総合研究所)
 山 本 文 夫 (土佐女子短期大学)
 輪 島 直 幸 (武蔵野短期大学)
 和 田 忠 久 (札幌国際大学)
再入会
 須 藤 芳 正 (川崎医療福祉大学)